

## ～ブッチャートガーデンを大いに楽しむ～

レポート：増 澤 美 和

### ◆いざ、ブッチャートガーデンへ

ビクトリアで有名な観光スポットは何と言ってもブッチャートガーデン。朝9時にダウンタウンを通る市バスの75番BCトランジット（2.5カナダドル）に揺られ、約50分間。

街を抜けて郊外へ、家や畑やバタフライミュージアム、チャーチアンドエステートというワイナリーを通り、くねくねとした道を抜ければブッチャートガーデンの看板が見えてきます。（市バスを利用しない方はシャトルバスが1時間ごと位に片道12ドルでダウンタウンを往復。）

### ◆おおにぎわい

入園料は大人が税金込みで30.86カナダドル。園内には、入ってすぐにお土産ショップやコーヒーショップ、ビジターセンターが見え、ブッチャートガーデンと書かれた大きな看板の前では人々が写真撮影の順番待ちをしています。

### ◆ブッチャートガーデンの始まり

53ヘクタールという広大な敷地のうち22ヘクタール余りを占めるブッチャートガーデンは、ロバート・ピム・ブッチャート氏経営の隣接するポートランドセメント工場へ供給した石灰岩の採石状跡地を美化するために、ジェニー夫人が整地して草花を植えたのが始まりだそう。



### ◆それぞれの庭園を楽しむ

園内には珍しい草木や花が植えられ、サンクンガーデンや、日本庭園、ローズガーデン、イタリア庭園、地中海庭園と大きく分けて5つのセクションにわかれ、展望台から眺める美しい景色は圧巻。大きなヒノキや岩山、噴水は訪れた人々を楽しませてくれます。

季節により姿を変える草花達は、今の時期、ところどころに咲き乱れるのは黄色やピンク、紫、深紅色のかわいい色や形のチューリップ達。7月～8月にはバラが満開に。

### ◆子どもも楽しめる場所が

トーテムポールや手彫りで木製の動物30頭と馬車2台で出来ているメリーゴーランドがあり、子どもも一緒に楽しめ、その近くにはちょっと一息入れるにはもってこいのコーヒーショップがあります。

### ◆ゆっくり回ると2時間半

1周を回するのに有に1時間以上かかる庭園は、朝の雨が嘘のように晴れたおかげとポーズ名人の元、様々なスタイルで写真撮影を

行い、あっという間に2時間半が経過してしまいました。

#### ◆バスに乗り遅れた

急ぎで各々お土産を購入し、2時のダウンタウンへの直通市バスへ乗るため、写真だけは優雅に、食べるのは5分と言う強硬アフタヌーンティーを実行(アフタヌーンティーは一人28カナダドルで、私たちは時間がなかったため1つを4人でシェアしました)そして一同バス停へ猛ダッシュ!

2時付近に到着しましたが、見えてこないバスに不安を感じ、バス停のベンチに座っていた方に訪ねてみたら5分前に行ってしまったよ・・・とのこと。さすがカナダ、時間が遅れる事があっても、時間より前に出発してしまうとは・・・

#### ◆バスの中に荷物を忘れた

仕方なくロイヤルオーク行きのバスに乗り、途中乗り換えでダウンタウンへ向かいました。

旅にアクシデントはつきもの。朝のバスに置き忘れた荷物を取りにロイヤルオークからメイフェアセンターの前で降り、BCトランジットへ。歩けど辿りつかないBCトランジット。辿りつけた時の喜びははかりしれずカナダの広大さを感じた1日。

#### ◆間との結束が固まったひと時

帰りは11番のバスに乗り10分程でダウンタウンへ無事に帰ってこられました。あまりの近さに一同びっくり。

乗り替えにはトランスファー。1ブロックを侮ってはいけない広大な土地カナダ。仲間との結束が固まったひと時を体験でき、楽し

く素晴らしい思い出に残るフリータイムとなりました。



<5月のブッチャートガーデン>